

(様式1)

高圧ガス製造許可申請書	冷凍	×整理番号	
		×審査結果	
		×受理年月日	年 月 日
		×許可番号	
名称(事業所の名称を含む。)			
事務所(本社)所在地			
事業所所在地			
製造する高圧ガスの種類			
欠格事由に関する事項	1 高圧ガス保安法第38条第1項の規定により許可を取り消され、取消しの日から2年を経過しない者		
	2 この法律又はこの法律に基づく命令の規定に違反し、罰金以上の刑に処せられ、その執行を終わり、又は執行を受けることがなくなった日から2年を経過しない者		
	3 心身の故障により高圧ガスの製造を適正に行うことができない者として経済産業省令で定める者		
	4 法人であって、その業務を行う役員のうち前三号のいずれかに該当する者があるもの		

年 月 日

代表者 氏名

千葉県知事

様

×事業所コード	連絡担当者	所属名	電話番号

- 備考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。
2 ×の項は記載しないこと。

製 造 計 画 書

1. 製造の目的

種類	製氷	冷蔵	冷凍	冷房・暖房	化学用	試験・研究	その他()
用途							

2. 製造設備の種類

定置式	直接膨張式	()段圧縮式	往復動式	水冷式	ユニット型
移動式	間接式	()元冷凍式	回転式	空冷式	
車両登録番号 ()	ブライン		スクリー式		非ユニット型
車両 ()	()	ヒートポンプ式	遠心式	蒸発式	
			吸収式		

3. 1日の冷凍能力

	トン	ブラインを共通にしている場合の内訳 ()トン+()トン+()トン
--	----	--

計算書は別紙 に示す。

4. 製造設備の明細

(1) 要目

番	号		
型	式		
冷媒ガスの種類			
基準凝縮温度 (°C)			
許容圧力 (MPa)	高圧部		
	低圧部		
備考			

(2) 圧縮機の性能

番	号				
型	式	名			
圧縮機の種類					
気筒内径 (mm)	※1				
	※2				
行程 (mm)	※1				
	※2				

気筒数 ※1					
回転数 (rpm) ※1					
ピストン押し量(m ³ /h) ※1					
原動機定格出力 (kW)					
製造所名					
安全装置	弁	口径 (mm)	計算書は別紙に示す。	〃	〃
		吹始め圧力 (MPa)			
		吹出し圧力 (MPa)			
		材 料			
	高圧遮断装置	作動圧力 (MPa)			
備 考					

(3) 高圧部容器

凝縮器	番 号			
	型 式 名			
	設計圧力 (MPa)			
	設計温度 (°C)			
	シェル型	外径×長さ×胴板厚×鏡板厚又は管板厚 (mm)		
		内容積 (ℓ)		
		鏡板、管板の形状		
		材料 (胴板・鏡板・管板)		
	コイル型	管の外径×列数×段数×管の長さ (mm)		
		管の材料		
製造所名				
安全装置	種類			
	口径 (mm)		計算書は別紙に示す。	計算書は別紙に示す。
	吹始め圧力及び吹出し圧力 (MPa) 又は溶融温度 (°C)			
	材 料			
	備 考			

受 液 器	番 号		
	型 式 名		
	設 計 圧 力 (M P a)		
	設 計 温 度 (° C)		
	外 径 × 長 さ × 胴 板 厚 × 鏡 板 厚 (mm)		
	内 容 積 (ℓ)		
	鏡 板 の 形 状		
	材 料 (胴 板 ・ 鏡 板)		
	製 造 所 名		
	安 全 装 置	種 類	
	口 径 (m m)	計算書は別紙 に示す。	計算書は別紙 に示す。
	吹始め圧力及び吹出し 圧力(MPa)又は溶融温度 (°C)		
	材 料		
	備 考		
油 分 離 器	番 号		
	型 式 名		
	設 計 圧 力 (M P a)		
	設 計 温 度 (° C)		
	外 径 × 長 さ × 胴 板 厚 × 鏡 板 厚 (mm)		
	鏡 板 の 形 状		
	材 料 (胴 板 ・ 鏡 板)		
	製 造 所 名		
	備 考		
()	番 号		
	型 式 名		
	設 計 圧 力 (M P a)		
	設 計 温 度 (° C)		
	外 径 × 長 さ × 胴 板 厚 × 鏡 板 厚 又は管板厚(mm)		
	内 容 積 (ℓ)		
	鏡 板 、 管 板 の 形 状		

	材料 (胴板・鏡板)		
	製造所名		
安全装置備	種類		
	口径 (mm)	計算書は別紙に示す。	計算書は別紙に示す。
	吹始め圧力及び吹出し圧力 (MPa)、破裂圧力 (MPa)、溶融温度 (°C)		
	材料		
	備考		

(4)-1 低圧部容器

安全装置備	番号		
	型式名		
	設計圧力 (MPa)		
	設計温度 (°C)		
	外径×長さ×胴板厚×鏡板厚又は管板厚(mm)		
	鏡板、管板の形状		
	材料 (胴板・鏡板)		
	製造所名		
	種類		
	口径 (mm)		
	吹始め圧力及び吹出し圧力 (MPa)、破裂圧力又は作動圧力 (MPa)		
	材料		
	備考		

(4)-2 その他の容器

（	番	号			
	型	式	名		
	設計圧力 (MPa)				
	設計温度 (°C)				
	外径×長さ×胴板厚×鏡板厚(mm)				
	鏡板、管板の形状				
	材料 (胴板・鏡板) 管板)				
	製造所名				
	全 装 置	安	種	類	
		口径 (mm)			
吹始め圧力及び吹出し 圧力(MPa)又は作動圧 力(MPa)					
材		料			
備		考			
（	番	号			
	型	式	名		
	設計圧力 (MPa)				
	設計温度 (°C)				
	外径×長さ×胴板厚×鏡板厚(mm)				
	鏡板、管板の形状				
	材料 (胴板・鏡板) 管板)				
	製造所名				
	全 装 置	安	種	類	
		口径 (mm)			
吹始め圧力及び吹出し 圧力(MPa)又は作動圧 力(MPa)					
材		料			
備		考			

(5) 配管

区 分	設 計 圧 力 (M P a)	設 計 温 度 (° C)	材 料
高 圧 部			
低 圧 部			

(6) 止め弁及び自動制御弁

区 分	止め弁、自動 制御弁の区分	型 式	設計圧力 (MPa)	設計温度 (°C)	口径 (mm)	材 料	個 数
高圧部							
低圧部							

(7) 自動制御装置

種 類	有 無	作 動 圧 力 (M P a)
高 圧 遮 断 装 置		
低 圧 遮 断 装 置		
油 圧 遮 断 装 置		差圧
過 負 荷 保 護 装 置		
凍 結 防 止 装 置		
断 水 保 護 装 置		
送 風 機 連 動 機 構		
過 熱 防 止 装 置		
ガス漏えい連動緊急停止装置		
冷媒ガス高温遮断装置		
溶液高温遮断装置		
受液器出口等緊急遮断装置		
ガス漏えい連動除外設備等		
感震器連動緊急停止装置		
停電補償ガス漏えい検知設備 及びインターロック		

5. 耐圧、気密等の性能

(1) 材料試験等、耐圧試験及び気密試験成績書

別添

(2) 冷凍用圧縮機等耐圧試験気密試験証明書

別添

(3) 機器試験合格証明書

別添

6. 製造施設の位置及び付近の状況

別図 に示す。

7. 製造施設の構造及び製造設備の配置

別図 に示す。

特に図中に明示する事項	図中の番号等	特に図中に明示する事項	図中の番号等
引火性、発火性の物をたい積した場所		機械室の開口部	
火 気		機械通風装置	
警 戒 標		消 火 設 備	
圧 力 計		ガス漏えい検知警報器	
安 全 装 置		除 害 設 備	
受 液 器 の 液 面 計		保 護 具 の 保 管 場 所	
保安上重大な影響を与えるバルブ等			

8. 製造施設の状況

(1) 火気等の状況

引火性、発火性の物をたい積した場所	無			
	有	種 類 ・ 量		
		冷媒設備からの距離(m)		
火 気	無			
	有	種 類	※ボイラの場合は伝熱面積 (m ²)	
		冷媒設備からの距離(m)		
		防火壁又は温度上昇防止措置の有無及び種類	無	
		有	種 類	

(2) 警戒標

表 示 事 項	

(3) 滞留しないような構造

開 口 部	面積	m ²
機 械 通 風 装 置	換気能力	m ³ /min

(4) 振動、衝撃、腐しよくにより冷媒ガスが漏えいしない構造

防 振 措 置	振れ止め 可とう管 防振装置 () その他 ()
突 出 部 等 の 防 護 措 置	
防 し よ く 措 置	塗装 その他 ()

(5) 耐震設計

凝 縮 器 (たて置円筒形で胴部長さ5m以上)	無
	有 計算書は別紙 <input type="text"/> に示す。
受 液 器 (内容積5000ℓ以上)	無
	有 計算書は別紙 <input type="text"/> に示す。

(6) 圧力計

区 分	取 付 位 置	最 高 目 盛 (M P a)	個 数
高 圧 部			
低 圧 部			
圧 縮 機 潤 滑 油			

(7) 受液器の液面計

液 面 計 の 種 類	
ガラス管液面計の破損防止措置	

(8) 除害措置

除 害 設 備 の 種 類		
除 害 剤 の 保 有 量		
保 護 具	空気呼吸器、送気式マスク、酸素呼吸器 (全面形)	個
	隔離式防毒マスク (全面高濃度形)	個
	保護手袋及び保護長靴 (ゴム製又はビニル製)	組
	保護衣 (ゴム製又はビニル製)	着

(9) バルブ等の基準

① バルブ等には開閉方向を明示し、配管には流体の種類及び流れの方向を明示する。

② 保安上重大な影響を与えるバルブの措置

バルブの種類	個数	開閉状態の表示	流体の種類及び方向の表示	封印等の措置
安全弁				封印
安全弁の元弁				禁札
緊急放出弁				
自動弁				
圧縮機吐出弁				
冷却水止め弁				
ブライン止め弁				
高低圧を区分する弁				

注) 自動弁とは電磁弁、逆止弁等をいう。

9. 冷凍保安責任者及び代理者の選任予定者

(1) 冷凍保安責任者氏名

第

種冷凍機械責任者免状交付

同 代理者氏名

第

種冷凍機械責任者免状交付

(2) 冷凍保安規則第36条第2項第

号に該当する。

10. 工事完成予定日

年	月	日
---	---	---

11. 工事施工業者

名称	
所在地	
電話番号	
担当者所属氏名	